

2020年度  
事業活動省エネルギー対策セミナー  
事例紹介資料  
(主催：神奈川県、横浜市、川崎市)



ひと皿に豊かな明日を

**セブン&アイ Food Systems**

日々を彩る  
おいしい時間を  
いつの時代も  
お客様の近くで



2021年2月

## 1. 会社概要

## 2. 環境への取り組み

### (1) 環境目標

### (2) エネルギーデータベースの構築

### (3) 省エネルギー～CO2排出削減

### (4) その他の取り組み

- ・環境マネジメントシステム（EMS）の構築
- ・パートナーシップによる環境推進
- ・環境教育と啓発

# 会社概要





ひと皿に豊かな明日を

セブン&アイ Food Systems

# セブン&アイグループの フードサービス部門を担う事業会社

環境配慮店舗  
屋根や駐車場に  
ソーラーパネルを  
設置

国内  
コンビニエンス  
ストア事業

海外  
コンビニエンス  
ストア事業

スーパーストア  
事業

日々の暮らしに  
密着した  
お食のサービス

金融関連  
事業

売場のプロが選んで  
商品をお届けする  
イトーヨーカドーの  
ネットスーパー

リサイクルPETや  
筒状材などに  
配慮した用紙を採用

子育て世帯の  
強い味方  
「セブんなないる  
保育園」

百貨店  
事業



「オムニ7」なら  
いつでもどこでも  
注文できます

超小型電気自動車  
「コムス」で  
宅配サービス

お客様の  
お荷物交換  
「あんしんお届け便」

専門店  
事業

その他の  
事業



## 会社情報



社名	株式会社セブン&アイ・フードシステムズ ( Seven & i Food Systems Co., Ltd. )	
代表者	代表取締役 小松 雅美	
住所	■ 二番町本部 〒102-8415 東京都千代田区二番町4番地5 ■ 南越谷事務所 〒343-0821 埼玉県越谷市瓦曾根2丁目9番16号	
設立	2007年（平成19年）1月10日	
資本金	30億円	
売上高	73,868億円（2020年2月期）	
従業員数	16,488名（正社員12,577名 パート社員15,231名）  (2020年2月末現在)	
店舗数	レストラン事業	383店
	ファストフード事業	54店
	コントラクトフード事業	242店
		(2020年2月末現在)

## 事業紹介



セブン&アイ・フードシステムズでは、レストラン、ファストフード、コントラクトフードの3事業を基本とし、フードビジネス全般を手がけております。安全・安心、そして食を通しての健康を原点とし、各々の事業、ブランドにおいて、お客様ご支持いただける、「最高の味」「感動のサービス」「食の快適空間」をご提供出来るよう、日々、努めて参ります。



2021年2月

## 1. 会社概要

## 2. 環境への取り組み

### (1) 環境目標

(2) エネルギーデータベースの構築

(3) 省エネルギー～CO2排出削減

(4) その他の取り組み

- ・環境マネジメントシステム（EMS）の構築
- ・パートナーシップによる環境推進
- ・環境教育と啓発

目標：セブン&アイグループ環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の達成  
4つのテーマを決め、2050年までに目指す姿を宣言

実質  
ゼロ

目標1：CO2排出削減



100%

目標2：プラスチック対策

「私たちの挑戦で未来を変えよう」

100%

目標3：食品ロス・食品リサイクル対策

100%

目標4：持続可能な調達

「脱炭素社会」「循環経済社会」「自然共生社会」を実現





ひと皿に豊かな明日を

**セブン&アイ Food Systems**

# 環境方針

## 【基本理念】

私たちは、「食を通じてお客様に喜んでいただく」という目的のもと、企業としての社会的責任を自覚し、環境保全活動に積極的に取り組み、循環型社会の実現と社会の持続的発展に向けて行動してまいります。

## 【環境行動指針】

1. 私たちは、事業活動の中で、環境保護、ロス削減、省エネルギー、資源の有効利用、廃棄物の削減、環境汚染の予防、生物多様性の保護につとめ、企業の責任を果たします。
2. 私たちは、事業活動に関連する法規制と当社が同意する取り決めを順守し、環境活動の分野ごとに自主的目標を定め、それを年ごとに見直し継続的に改善します。
3. 私たちは、従業員に対する継続的な環境教育と環境啓発を推進し、意識向上に努め、お客さまや地域社会にその役割を果たします。

2017年3月1日

株式会社 セブン&アイ・フードシステムズ  
代表取締役 小松 雅美

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

事業特性から1 2と1 7の優先順位が高い



2021年2月

## 1. 会社概要

## 2. 環境への取り組み

(1) 環境目標

**(2) エネルギーデータベースの構築**

(3) 省エネルギー～CO2排出削減

(4) その他の取り組み

- ・環境マネジメントシステム（EMS）の構築
- ・パートナーシップによる環境推進
- ・環境教育と啓発

# 省エネ推進の背景と課題

## 1. 地球温暖化防止という世界共通の責任

## 2. 国の法改正、強化

- ・『エネルギーの使用の合理化等に関する法律』 ⇒ 省エネ法（経産省）
- ・『地球温暖化対策の推進に関する法律』 ⇒ 温対法（環境省）

## 3. 2を受けて地方公共団体（自治体）条例施行

- ・『CO2削減を指向した計画書及び報告書の提出』

## 4. 多業態・多店舗の事業形態から、エネルギー関連情報の発生元が多岐に渡り、集計作業が煩雑・複雑化することで、業務の生産性が低く、データの信頼性が担保できない。

そのソリューションとして



エネルギー関連情報をBPO（日立製作所）でデータベース化

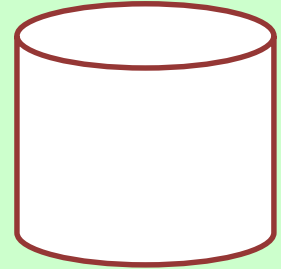
# 業務負担軽減とデータの信頼性確保、法規制対応業務のリスク低減、優先課題を抽出する

行政対応力の強化  
省エネ法 定期報告書  
自治体条例  
横浜市、神奈川県  
愛知県、埼玉県、東京都

環境経営 店舗管理部



大量のデータと  
ノウハウを蓄積  
活用範囲を拡大

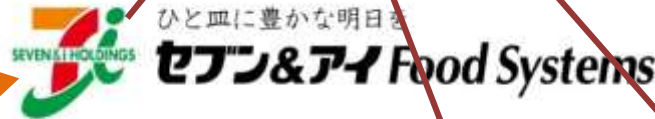


## クラウド

省エネ支援計画立案



アウトソーシング責任者



データ分析支援



専門ノウハウをもつ事業者へ  
アウトソーシング

## データ集約・行政対応業務 BPO (アウトソーシング)

日立

各種 電力計測  
ガス・灯油・熱・水道

- ・電力会社
- ・自由電力会社
- ・計測 (スマートセンサ)

セブン & アイグループとの共有  
第三者検証 (ビューローベリタス社) 対応  
の業務を含む



.....



レストランなど 約700の店舗と本部オフィス

2021年2月

## 1. 会社概要

## 2. 環境への取り組み

(1) 環境目標

(2) エネルギーデータベースの構築

**(3) 省エネルギー～CO2排出削減**

(4) その他の取り組み

- ・環境マネジメントシステム（EMS）の構築
- ・パートナーシップによる環境推進
- ・環境教育と啓発

### (3) 省エネルギー～CO2排出削減

## 環境に配慮した店舗設備例① 厨房機器・・・LCAの視点で導入

常に沸騰させておくボイル機から

待機電力の無いパスタスチーマーへの切り替え



※食材冷凍技術の革新も不可欠

電動コンベア式オーブンの導入

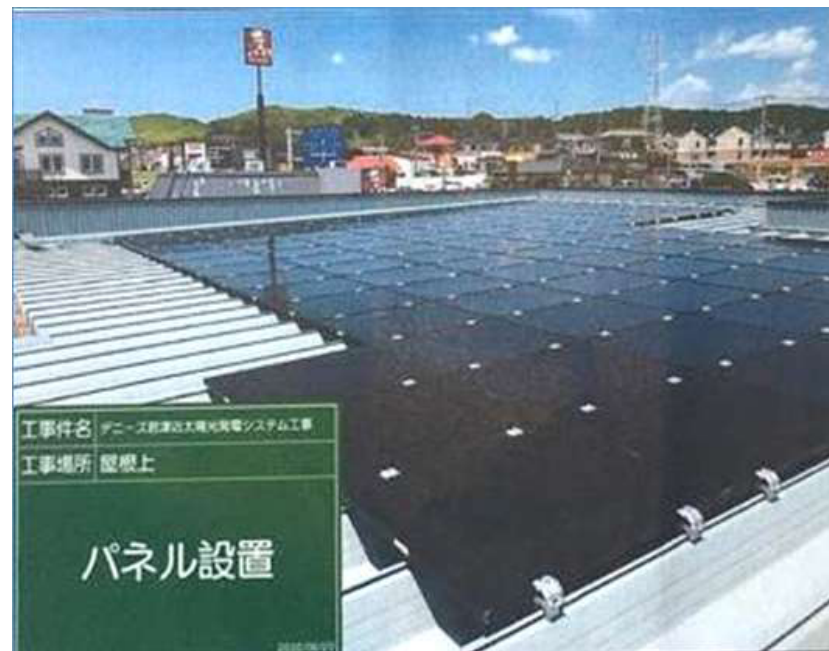


### (3) 省エネルギー～CO2排出削減

## 環境に配慮した店舗設備例② 空調照明機器・・・中長期の視点で導入 省エネ型個別空調と客席全ての照明のLED化



新型太陽光パネル店舗屋上設置  
(従来機種との4倍発電量)





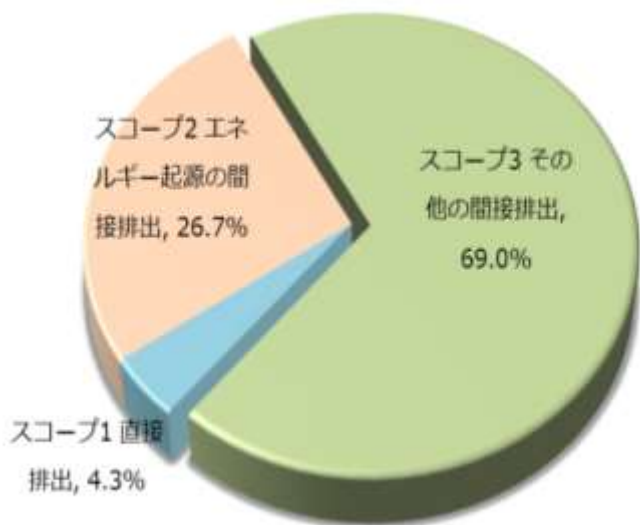
# (3) 省エネルギー～CO2排出削減

## アウトプット①

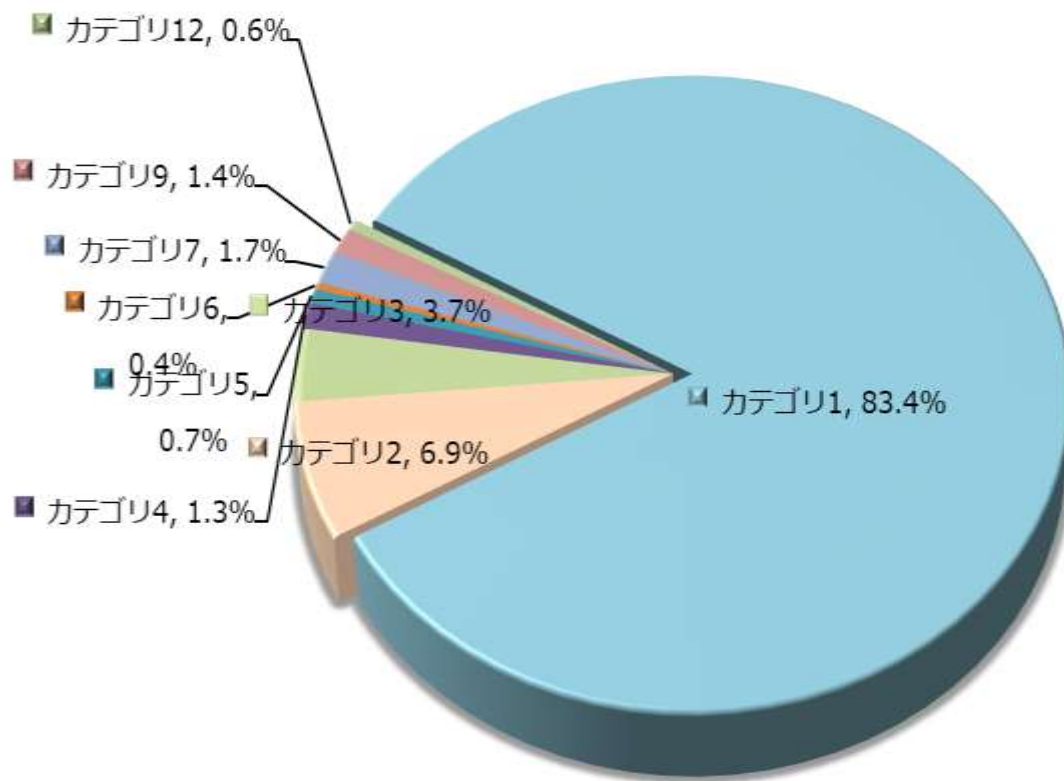
### スコープ3の算出

・課題の把握

サプライチェーン全体の排出量 内訳



スコープ3の排出量 内訳



外食事業で継続的にスコープ3まで公開しているのは7FSだけ

# (3) 省エネルギー～CO2排出削減

## アウトプット②


・排出事業者としての社会的責任

### CO2排出量の第三者審査を毎年受審

審査対象の主要  
12社の売上高で  
グループ全体の約  
97%をカバー

温室効果ガス排出量検証報告書

株式会社セブン&アイ・ホールディングス 御中



2018年8月31日

ビューロー・ベリタス・ジャパン株式会社  
システム認証事業本部

ビューロー・ベリタス・ジャパン株式会社(以下、ビューロー・ベリタス)は、セブン&アイHLDGS. CSR Report 2018において株式会社セブン&アイ・ホールディングス(以下、セブン&アイ)により報告される温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証範囲  
セブン&アイはビューロー・ベリタスに対し、以下の温室効果ガス情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量  
・日本国内、米国(7-Eleven, Inc.のエアライセンサーが運営する店舗は含まない)、カナダにおける下記の店舗運営にともなうエネルギー消費によるCO<sub>2</sub>排出量

会社名	対象店舗数	対象報告期間
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	20,286	2017年4月1日から2018年3月31日
株式会社イトーヨーカ堂	176	
株式会社ヨークベニマル	222	
株式会社そごう・西武	19	
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	601	
株式会社ヨークマート	80	
株式会社ロフト	99	
株式会社赤ちゃん本舗	114	
株式会社シェルガーデン	29	
株式会社ライフフーズ	221	
7-Eleven, Inc.	8,297	2017年1月1日から2017年12月31日

・株式会社ライフフーズの国内4工場の事業活動にともなうエネルギー消費による、2017年4月1日から2018年3月31日の期間のCO<sub>2</sub>排出量  
・アイワイフーズ株式会社の国内1工場と3営業所の事業活動にともなうエネルギー消費による、2017年4月1日から2018年3月31日の期間のCO<sub>2</sub>排出量

# 取り組みの成果

2030年の目標

## 30%削減

(2013年度比)

2050年の目指す姿

## 実質ゼロ

**基準年度**

2013年

97,766(t)

**マイルストーン**

2030年

68,436(t)

**目標**

2050年

0(t)

店舗運営に伴うCO2 排出量推移

■ 店舗運営に伴うCO2排出量 (t-CO2)

— 店舗運営に伴うCO2排出量削減率13年度比 (%)



2021年2月

## 1. 会社概要

## 2. 環境への取り組み

(1) 環境目標

(2) エネルギーデータベースの構築

(3) 省エネルギー～CO2排出削減

**(4) その他の取り組み**

- **環境マネジメントシステム（EMS）の構築**
- パートナーシップによる環境推進
- 環境教育と啓発

# 環境マネジメントシステム（EMS）の構築

## 1) 社内環境経営推進体制（環境部会の設置）

2020年度 EMS概要 組織図



# 環境マネジメントシステム（EMS）の構築

## 2) 国際規格ISO14001を2015年に認証取得



**ISO 14001**  
マネジメントシステム登録証

登録証番号：JQA-EM7134

登録事業者：  
株式会社 セブン&アイ・フードシステムズ  
東京都千代田区二番町4番地5

当機構は、上記事業者の環境マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。


ISO 14001 :2015 / JIS Q 14001 :2015

登録日：2015年 2月 6日  
登録更新日：2021年 2月 6日  
有効期限：2024年 2月 5日

本登録証の有効性は、登録維持期間中に維持されることを前提とします。

一般財団法人 日本品質保証機構  
東京都千代田区東山王1-2-5  
理事長 小林 憲明

Partner of JQA - ICNet



**ISO 14001**  
付属書

登録証番号：JQA-EM7134 1 / 1

登録事業者：  
株式会社 セブン&アイ・フードシステムズ

登録活動範囲：  
レストラン運営管理（メニュー開発、仕入、物流管理、設備維持管理）及び店舗での調理・提供サービス

関連事業所：  
・株式会社 セブン&アイ・フードシステムズ 南越谷事務所  
埼玉県越谷市瓦曽根2丁目9番16号  
〔レストラン運営管理の一部〕

登録範囲に含まれる組織・事業所の詳細は当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

登録日：2015年 2月 6日  
登録更新日：2021年 2月 6日  
有効期限：2024年 2月 5日

本登録証の有効性は、登録維持期間中に維持されることを前提とします。

一般財団法人 日本品質保証機構  
理事長 小林 憲明

Partner of JQA - ICNet

2021年2月

## 1. 会社概要

## 2. 環境への取り組み

(1) 環境目標

(2) エネルギーデータベースの構築

(3) 省エネルギー～CO2排出削減

(4) その他の取り組み

- ・環境マネジメントシステム（EMS）の構築
- ・パートナーシップによる環境推進
- ・環境教育と啓発

# パートナーシップによる環境推進

## 1) 他業種・企業とのパートナーシップ

### 新素材：「LIMEX」のアップサイクルスキーム構築

**セブン&アイ・フードシステムズ、TBM、リコージャパンが  
連携し、LIMEXの資源循環モデルを開始**

～使用後のメニューを回収し、デニーズで使用するトレーへアップサイクル～

使用する

回収・再資源化する

再製品化する



LIMEXという新素材を、使用するだけでなく**新しい資源循環スキーム**を構築することで、水資源・森林資源・紙資源・プラスチック削減・廃棄物削減・CO2削減という様々な環境問題のソリューションとする  
⇒ 今後は自社回収に留まらず、その先の社会的取り組みにすべく挑戦



# パートナーシップによる環境推進

## 2) 外部団体とのパートナーシップ

### 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」と共同宣言



食品ロスの削減を目指し、全国408の自治体が参加する「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」とセブン&アイ・フードシステムズを含む企業3社との共同宣言

# パートナーシップによる環境推進

## 3) お客様とのパートナーシップ

**のこさず食べて  
スタンプをもらおう!!**

食品ロス削減にご協力ください

たべられないものや たべられる量を  
お店のひとにおしえてニヤッ  
のこさず ぜんぶたべたら  
スタンプを1コおしてもらおう!

スタンプが4コ たまったら  
どちらかひとつ  
**プレゼント!!**

有効期限 2018.11.30(金)

① 食べものに、もったいないを、もらいと。 NO FOOD LOSS ANYWHERE

セブン&アイ・フードシステムズは「食品ロス削減運動」を推進しています。この取り組みに賛同する「食品

「のこさず食べてスタンプをもらおう!!」

お客様と共に、楽しみながら取り組む、食育と食品ロス削減



# パートナーシップによる環境推進

## 4) フードバンクとのパートナーシップ



店舗から食材をドライバーさんへ



寄贈食材を施設へお届け



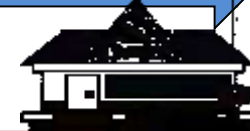
児童養護施設から御礼

セカンドハーベスト・ジャパンを通じてメニュー改訂時の終了食材の一部を児童養護施設、就業支援施設等へ寄贈

# パートナーシップによる環境推進

## 5) リサイクラー、農家とのパートナーシップ

### コーヒー豆かすの飼料化リサイクル



横浜市  
市内店舗

週2回  
収集

三友  
プラントサービス

酪農家

全国酪農  
業協同組合

仕入・  
製造

店舗



# パートナーシップによる環境推進

## 6) 同業他社とのパートナーシップ - 1



ひと皿に豊かな明日を

セブン&アイ Food Systems



パートナーシップによる環境推進

6) 同業他社とのパートナーシップ - 2

# 「EarthHourを業界挙げてのイベントに」 飲食業界として、環境啓発を発信



## EarthHourとは

世界中で同じ日時に消灯し、地球温暖化防止の意志を示すWWF主催による地球規模の環境啓発イベント

毎年、3月最終土曜日 20:30～21:30 の60分間実施

社会の行動を変えたい・・・という思いから業界各社へ声掛けし、去年は外食20ブランド、約560店舗で参加

2021年2月

## 1. 会社概要

## 2. 環境への取り組み

(1) 環境目標

(2) エネルギーデータベースの構築

(3) 省エネルギー～CO2排出削減

**(4) その他の取り組み**

- ・環境マネジメントシステム（EMS）の構築
- ・パートナーシップによる環境推進
- ・**環境教育と啓発**

## (4) 環境教育と啓発

### 1) 環境社会検定（エコ検定）の全社員合格推進



社内勉強会・模擬試験

テキスト・問題集も会社支給で勉強・合格を支援

**成果：累計1,200名、社員の9割合格(2020年末現在)**



## (4) 環境教育と啓発

### 2) 飲食店初のエコマーク認定

### 「デニーズ」ブランド全店で取得



ECO MARK CERTIFICATE

エコマーク商品認定証

公益財団法人日本環境協会



ECOMARK  
CERTIFIED RESTAURANTS

エコマーク認定店舗



食材をえらび、  
むだなく運ぶ



エコな備品・  
設備をつかう



フードロス  
減らす



エコな  
店舗運営



省エネ・節水



お客様との  
エコ活動

認知度の高いエコマーク認定を  
取得することで、自社ブランドへの  
意識向上を図る



目標：セブン&アイグループ環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の達成  
4つのテーマを決め、2050年までに目指す姿を宣言

**実質  
ゼロ**

目標1：CO2排出削減



**100%**

目標2：プラスチック対策

「私たちの挑戦で未来を変えよう」

**100%**

目標3：食品ロス・食品リサイクル対策

**100%**

目標4：持続可能な調達

**「脱炭素社会」「循環経済社会」「自然共生社会」を実現**

ご視聴、ありがとうございました